
孤独な男の幻想入り

牙練

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

孤独な男の幻想入り

【NZコード】

N8248Y

【作者名】

牙練

【あらすじ】

家族を失い、幻想郷と言う架空の世界に繰りつく青年。彼はあらゆる物・事を増減する程度の能力を使い幻想入りした。彼は優しい。しかし、彼は現実とも折り合いを付けながら幻想郷を生きていく

優しい青年の暴挙（前書き）

何も完結していない馬鹿の、何時もながらの暴走です。

優しい青年の暴挙

（現代の何処か）

青年は1人、生きてきた。

生まれた頃からでは無い。

ただ、姉夫婦は事故で死に両親は流行病で無くなつた。

親戚は引き取ると言つてくれたが、青年は断つた。

それから青年は高校を卒業した後、働いて働いて生きてきた。
そんな生活が2年続いた。

語弊がある。

働いて働いて“能力を使って”生きてきたが正しい。

彼がこの能力　　あらゆる物・事を増減する程度の能力　　を
手に入れた出来事は、家族の死であった。

現実に絶望し、自ら命を絶とうと考えた矢先の時だつた。

彼は体力を増やし肉体労働をこなし、ダイエットの臨時講習の仕事を請けた際受講者の体重を減らしたり、金を増やしたり地雷を減らしたりして能力を使つていた。

彼は決して、自分の欲望を満たすために人に迷惑を掛ける事はしなかつた。

だが、それでも彼は“孤独”だつた。

彼は孤独を嫌つていた、それなのに彼は優しすぎた存在だつた。
自分では無く他人の悩み・悲しみ・憎しみを何とかしてあげたいと
考える、そんな青年だつた。

表情・表面には出さないが、彼はそんな人間だつた。

だからこそ、彼は“都市伝説”に縋りたかつたのかもしれない。

PCで見たことのあるキーワード“東方Project”全部を見た訳では無いが、隔離された世界“幻想郷”と言つ世界があると言う事。

其処には少ない人間と“妖怪・神・妖精・亡靈・鬼”が住む世界と言つ。

彼はそんな世界に行つて見たいと思った。

しかし、其処に行くには“忘れ去られる”と言う方法か“隙間妖怪”と言う存在に連れて行つて貰う以外に方法は無かつた。

彼が其処に行きたいと強く願つたのは、家族の死だつた。

もし家族が生きていたらこんな考えは若氣の至りとなつていただ。けれど、肉親が居なくなり孤独感に襲われた彼に縋るしか無かつたのが幻想郷だつた。

だからこそ、彼は親戚の引き取りを断り存在を忘れ去られようとした。

けど、結局上手く行かなくて

彼は幻想郷に行けなかつた。

いつか行ける事を夢見て、生きてきた。

最早それは、妄想と言うべきか。

それでも彼は幻想郷に行く事を求めて止まない。

しかし、最早彼も手段を選ばずにはいられなかつた。

「本当はこんな手段を使いたく無かつたが……。」

前記にも記した通り、彼は私利私欲の為に人に迷惑を掛けたくないと考えるお人よしだつた。

しかし、彼は限界だつた。

だからこんな“暴挙”に出た。

幻想郷の存在を“増やし”、俺の存在を“減らす”！

彼がそう念じようとした時。

くはあ！

足元に“スキマ”が開いた。

青年は居なくなつた。
幻想入りを果たした。
ただそれだけ。

優しい青年の暴挙（後書き）

今回も頭の中で血口完結しない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8248y/>

孤独な男の幻想入り

2011年11月24日17時51分発行